

2007年9月27日、東京コンファレンスセンター品川にて、「UC-win/UC-1ユーザ協議会」を開催いたしました。弊社では、例年この時期に「UC-win/F-RAME(3D)協議会」を開催していますが、第5回UC-win/F-RAME(3D)協議会を併催する形で、フォーラムエイトの設計、解析、CADソリューションを広く発表し、協議する「第1回FORUM8デザインコンファレンス」として実施いたしました。

Stream-1は、メインホールにて午前11時より、「3次元動的非線形解析UC-win/F-RAME(3D)最新開発情報」として、開発グループである新規プロジェクトグループ安部より、説明を行いました。最新版Ver.2.01の改良項目とVer.3.00改良予定が説明され、データ交換SDNFのサポートも挙げられています。質問としては、「初期応力への対応」が要望されましたが、Ver.3での対応を予定しています。午後には、F-RAME(3D)解析ケーススタディとして、国際航業株式会社の茂木 貴司氏より、鋼橋の耐震補強設計事例の講演が実施されました。続いて弊社「解析支援チーム」よりUC-win/F-RAME(3D)解析支援サービスの実績と解析事例を紹介いたしました。

最終セッションは、弊社開発取締役プレントより、弊社の開発哲学を前提に戦略的な新製品として開発中のEngineer's Studioを紹介いたしました。

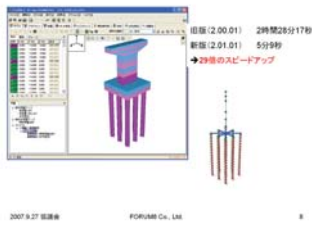


▲UC-win/UC-1ユーザ協議会資料集表紙
2007年9月27日(木)11:00~17:00開催



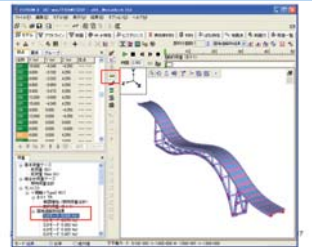
▲東京コンファレンスセンター品川 Stream-1を開催した大ホールA

■最新開発情報 (UC-win/F-RAME(3D) Ver2.1~Ver3.0) 講演 S1-1

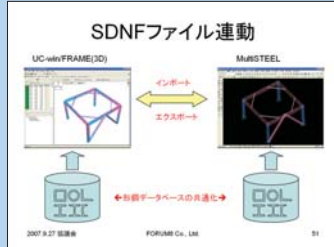


▲計算スピードの向上

▲鋼部材のひずみ照査

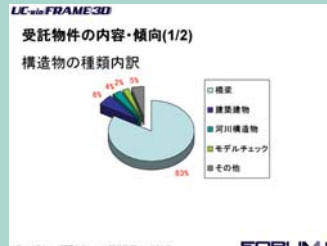


▲変形3DSエクスポート



▲鋼構造データ交換SDNFのサポート

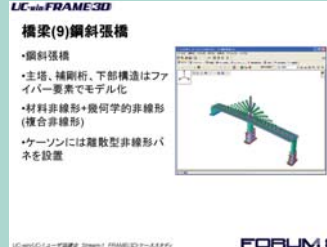
■解析支援サービス 講演 S1-3



▲受託物件の内容・傾向 構造物の種類



▲受託物件の内容・傾向 橋梁の種類

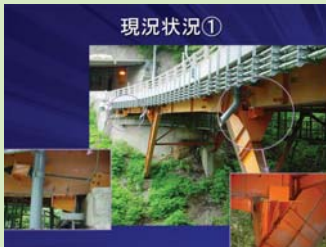


▲橋梁鋼斜張橋



▲河川構造物

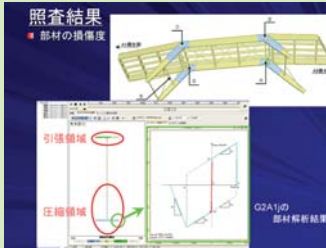
■ユーザ特別講演 (国際航業株式会社 茂木 貴司氏) 講演 S1-2



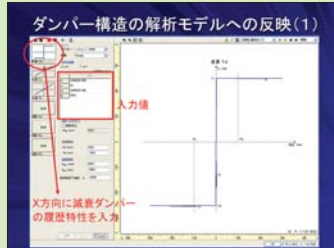
▲現況状況



▲鋼橋耐震補強設計事例



▲鋼橋耐震補強設計事例 照査結果

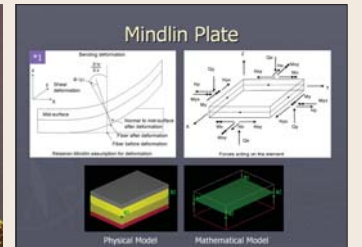


▲ダンパー構造の解析モデルへの反映

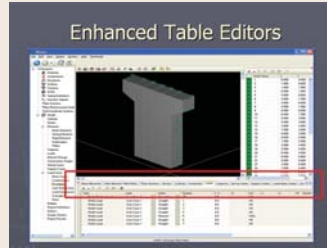
■Engineer's Studio開発情報 講演 S1-4



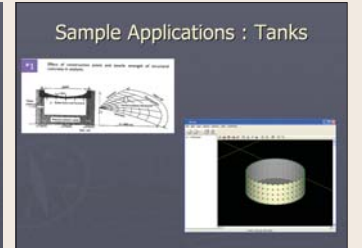
▲開発担当取締役 Brent Fleming



▲Mindlin Plate



▲Navigation Tree



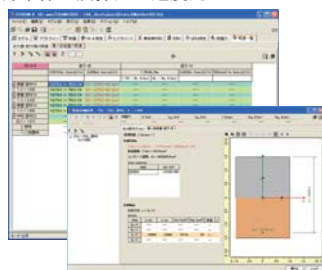
▲プレートモデル:タンク

●UC-win/F-RAME(3D) Ver.3

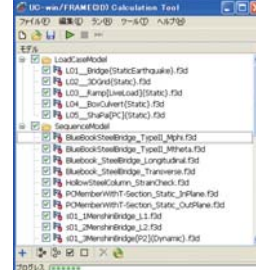
2008年3月10日リリース

今回は、Windows Vista対応をはじめ、解析部から断面計算部までの広範囲にわたって機能を強化しています。さらに、複数のファイルを一括して計算できるツールも添付します。

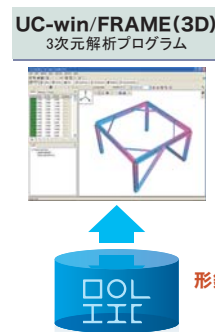
- 固有値解析の計算速度向上、解析部本体の演算処理速度向上
- 形鋼データベース拡張
- 最小鉄筋量の照査追加
- 要素別Rayleigh減衰
- 鉄筋の許容応力度追加
- せん断有効高さ算出改善、せん断補強筋の照査改善
- 二軸向け応力度計算の収束改善
- 収束しにくいモデルの解析制御
- 鋼製部材のひずみ照査機能強化
- 鋼材ヒステリシス拡張
- 地震波の線形補間機能追加
- SDNFファイル連動
- 複数ファイルの連続実行ツール



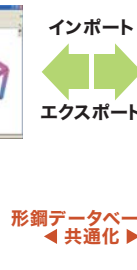
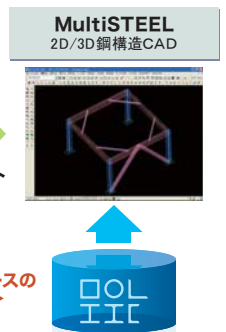
▲最小鉄筋量の照査



▲複数ファイルの連続実行ツール



▲SDNFファイル連動



▲形鋼データベースの共通化